

2017 年度事業計画

(2017-04-01 ~ 2018-03-31)

【0】基本方針・重点課題

1. 本年はエスペラント創始者ザメンホフの没後 100 年である。世界エスペラント協会 (UEA) の Zamenhof-Jaro 2017 (ザメンホフ年 2017) キャンペーンに呼応してエスペラント界内外への広報、諸活動を行う。
2. 本年夏に韓国のソウルで開催される第 102 回世界エスペラント大会に日本より多くの参加があるよう働きかける。また来年に国内開催が決まった第 2 回日韓共同開催エスペラント大会の準備を進める。これらにより国内エスペラント界の活性化を図る。
3. 変化の激しい世界の流れの中で、エスペラントが時代を捉え、発展できるよう各事業の取り組みを強化する。

【1】エスペラント普及事業

(担当：普及推進部)

【1.1】基本事業

1. 国内外のエスペラント組織と連携し、エスペラントについて知らせ、エスペランティストを増やす普及活動を行う。
2. 会員との連携を強化し、会員以外の団体、個人を含めた協働の輪を広げ運動の発展を図る。
3. 広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動を進める。

【1.2】エスペラント普及推進事業の計画

1. 国内のエスペラント運動の現状を把握し活性化を図る。
 - (1) 広域、地域、専門の各団体に対し、2017 年の活動に関する情報の提供を依頼し、それを 2018 年 4 月号の『エスペラン

- ト / *La Revuo Orienta*』(RO 誌) に「2017 年エスペラント運動年鑑」として発表する。
 - (2) 「運動年鑑」の結果を生かし、情報を整備して活用できる体制を作る。
 - (3) エスペラント界外の団体との協働を進める。
2. 各エスペラント団体と協働し、各団体の活性化を図る。
 - (1) 地方エスペラント連盟の大会などに理事・協議員が出席し、各地のエスペラント運動の状況について意見交換を行うように努める。
 - (2) エスペラント会連携推進委員会のもと、「エスペラント会懇談会」やそのメーリングリストの運営を行い、情報の共有、経験交流を図り、ウェブ資料集の整備に努める。
 - (3) 国際部と共同し、来日する海外からのエスペランティストおよび日本在住の外国人エスペランティストの情報を共有、より多くの交流が図れるように受け入れ先等の情報を整備する。
3. 会員の拡大・定着に努める。
 - (1) 新しい会員の獲得、会員の継続を呼びかける。
 - (2) 青年支援基金を活用して、青年層のエスペランティストを育成・支援する。
 - (3) 団体会員制度の見直し検討を行う。
4. その他の取り組み
運動に功績があったエスペランティストに「小坂賞」を授与し、内外にその功績を広める。

【1.3】エスペラント広報事業の計画

1. 本会ウェブサイトにおいて、エスペラントに関する、また行事・講習会等に関する情報を、よりわかりやすく一般およびエスペ란ティストに提供できるよう内容の充実を図る。
2. ウェブサイト以外にもフェイスブック、ツイッター、ユーチューブ等の活用をさらに進め、より広い層への効果的な広報に努める。
3. マスコミ向けのニュースリリース「エスペラントの今」の定期的な発行を行う（年4回程度）。
4. 広報材料の拡充。
 - (1) エスペラント展に使える展示資料や宣伝チラシのウェブ上の共有書庫をさらに充実させ、公開する。
 - (2) 本会の活動や日本大会を紹介する動画を制作し、またエスペラントを効果的に紹介する外国の動画を一般への広報に活用する。
 - (3) 第2回動画コンクールを開催、公募活動を通してエスペラントについて広報し、結果を有効利用する。最優秀作品等を日本エスペラント大会で表彰する。
5. グローバルフェスタに参加、発表等を通して広報活動を行い、他の国際交流団体と交流を図る。
6. 「ザメンホフ没後100年」をエスペラント界内外に積極的に広報し、本年の第104回日本エスペラント大会での「ザメンホフ没後100年」記念講演会の開催に協力する。

【2】エスペラントを用いた

国際交流事業（担当：国際部）

【2.1】基本方針

1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio = UEA）の日本における国別代表組

織として推進する。また、UEAのアジア運動委員会（Komisiono de UEA pri Azia Esperanto-Movado = KAEM）と協働する。事業には、日本UEA委員、UEA-delegito（都市別代表）、KAEM委員やKAEM協力が協働して当たる。

2. 日本のエスペ란ティストが行う国際的なエスペラント活動を支援する。
3. 外国のエスペ란ティストに日本の各種行事への参加を促す。

【2.2】国際交流事業の計画

1. 2017年に開催される国際的なエスペラント大会への参加、また協力を呼びかける。青年層へ行事の広報を本会ウェブサイト等で行い「青年エスペランティスト国際行動支援金」制度の活用を積極的に呼びかける。
 - (1) 第102回世界エスペラント大会（韓国のソウル7月22日～7月29日）へUEA委員を派遣、Movada Foiro（エスペラント運動展）への出展および参加旅行団を関連事業部と協力して実施する。隣国での大会であるため、できるだけ日本から多くの参加者があるよう、効果的な施策を進める。
 - (2) 第73回国際青年エスペラント大会（トーゴのアネホ、8月5日～12日）。
 - (3) その他、日本国内外で開催される国際的なエスペラント行事。
2. 第104回日本エスペラント大会（【6.2】参照）中の関連行事－アジア活動分科会、UEAのdelegito分科会、Pasporta Servo（国際無料宿泊網）分科会－を開催する。東アジア4か国の代表組織に同大会への招待状を送り、実行委員会と協働する。
3. 日本のエスペランティストへの支援として、国際文通サービスを継続する。
4. UEA-delegito間の連絡を図り、また不在地域にはdelegitoを置くように働きかけ

る。

5. 各地のエスペラント会の姉妹都市交流状況を把握し、姉妹都市活動の活性化に資する。

【3】エスペラント研究教育事業

(担当：研究教育部)

【3.1】基本方針

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成および指導力強化、教材や資料の提供、学校を含むエスペラント界外でのエスペラント教育に関連する事業の支援等に取り組む。特にウェブによる学習環境を充実し、若い学習者への支援を強める。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組み、増強を図る。
3. 八ヶ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、エスペラント運動に一層貢献できるようにする。
4. 事業活動の円滑な推進のためには、それらの活動を担う人材の確保と効果的な業務分担が不可欠であるという観点から、研究教育部員及び各種委員の募集に努める。

【3.2】研究教育事業の計画

1. エスペラント集中学習の機会として、第50回エスペラントセミナーを名古屋市で開催する(5月3日～5月5日)。
2. 入門、初級、中級の各講座の指導者のための講師養成講座を開催する。
3. JEI 常設講座を開設する方向で検討を進める。
4. JEI 学力検定試験については、試験委員を増員し、受験機会を増やすとともに、各級検定基準をより明確にして受験希望者の効果的な学習に寄与する。
5. UEA の主催する KER 試験 (Komuna Eŭropa Referenckadro に基づく試験) の実

施に協力する。

6. 学校でのエスペラント授業支援の他に、校外での学習グループの支援も行う。
7. ウェブ講座「ウェブ版ドリル式エスペラント入門」の学習支援事業を継続し、その他のウェブ講座の支援についても検討する。
8. 今後のエスペラント教育の新たな体制作りの検討を始める。
9. 日本エスペラント大会で研究発表会および文芸コンクールを実施する。普段からの情報収集に努め、発表を促す。
10. 新設のエスペラント研究発表会運営委員会の活動に便宜を図り、その活動を基盤にしてエスペラント研究増強のための取り組みを推進する。

【3.3】八ヶ岳エスペラント館における事業の計画

1. 利用者 500 人台を維持する。
 - (1) 4月9日(日)から11月17日(金)まで開館し、この間週末と夏季は宿直当番を置き、利用者の便宜を図る。
 - (2) 昨年度よりの寄付金体系(1泊目2,500円、2泊目から1,000円)を引き続き実施する。
 - (3) 運営体制の強化：運営委員の16名体制を維持する。運営委員の宿直任務を軽減できるよう、ライセンス所持者を増やし、当直ボランティアを募集する。あわせて講習マニュアルや受講者名簿の充実整備を行う。
 - (4) 7月の世界エスペラント大会(ソウル)、11月の日本エスペラント大会(横浜)を機会に、外国人や八ヶ岳エスペラント館から遠い地域に住んでいる人にも同館を利用してもらえるよう宣伝する。
 - (5) 長期保全計画に沿って建物の保全に努め、安全で快適な施設になるよう整備を行う。

(6) ソウル世界大会やエスペラント関係の展示を通年でいい、一般にも公開の機会を持つ。

2. 次の行事を主催する。

(1) 春の八ヶ岳エスペラント館の日 (4月21日～23日)。

(2) 第19回エスペラント漬け合宿 (NEK) (8月26日～28日)。

(3) 秋の八ヶ岳エスペラント館の日 (9月16日～18日)。

【4】エスペラント雑誌の刊行事業

(担当：編集部)

【4.1】基本方針

1. 雑誌『*La Revuo Orienta* / エスペラント』(RO誌)を下記の方針で発行し、エスペラントの普及発展に資する。

(1) エスペラントを学ぶ人にとって学習のよりどころとなる。

(2) エスペラントを使う人にとって実用の場を深め、広める。

(3) エスペラントを広める人にとって情報源となり、運動の活力となる。

(4) エスペラント経歴の深浅にかかわらず、魅力的な誌面構成になるよう努める。

【4.2】雑誌刊行事業の計画

1. 雑誌 (RO誌) を下記のように刊行する。

(1) 基本的に、印刷版として A5 判 40 ページを原則とした雑誌を毎月発行する。ただし 8・9月号は合併号とする。

(2) 電子版については、個人会員に本会ウェブサイト内の会員専用ページで提供する。

(3) 視覚障害者向けには、印刷版を抜粋した音声版 CD を発行する。また点字版の制作に協力する。

2. 編集体制は、毎月の編集部会を中心とし、年1回は拡大編集部会を開く。

3. 各号については、ニュース記事・定例記事・特集記事などの比率、日本語文とエスペラ

ント文との比率を考慮しつつ編集する。特集記事については、本会とエスペラント界の動向を反映しつつ、編集部会で計画する。

4. 他の事業部門との連携により、一部の号を「大特集」ないし「号外」として発行する：4月に普及推進部と「運動年鑑」大特集、10月号外に図書販売部門と『JEI 図書カタログ』(3年ぶり)、2018年2月に大会組織部と「第104回日本エスペラント大会報告」大特集。

【5】図書等刊行・頒布事業

(担当：出版部)

【5.1】基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。

2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また内外のエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

【5.2】図書刊行事業の計画

1. 出版物として下記を予定する。また具体的な出版物の案がある場合検討する。

(1) 第104回日本エスペラント大会記念本を準備する。

a. 『神奈川とエスペラントー神奈川県エスペラント運動史 (日本語)』。

b. 『Manlibro pri Jokohamo (仮題)』の発刊 (Mevo-Libroj 発行予定) を支援する。

(2) 『La nanoj en domo kun granda zerkovo (木かげの家の小人たち：いぬいとみこ作)』板橋満子訳。

(3) 『漢字学習辞典エスペラント語版』(日中韓辞典研究所編集)。

(4) 『日本語エスペラント辞典 (宮本正男編：1983年発行)』の語彙検索によるDVD制作。

2. 今後の出版物の準備計画をする。

(1) 『日本語エスペラント辞典 (宮本正男

編)』の改訂版刊行に向けて後藤斉編集主幹のもと立ち上げた編集委員会が改訂作業を継続する。

(2) 『エスペラント日本語辞典』は増刷が必要であり、増刷に関し意見を集約し具体化する(今回の増刷は誤植の訂正などに限る予定)。

(3) 『(仮称) 瑛九から久保貞次郎への手紙(エスペラント文)』松本淳編。宮崎エスペラント会訳を刊行する計画を立てる。

(4) 『日本エスペラント運動史』(初芝武美編)以降の歴史(1969年以降)の編纂について検討する。

【5.3】図書頒布事業の計画

1. エスペラント書籍の販売、取り次ぎを行う。委託販売を行う。

2. 「エスペラント読書相撲」の推奨、本年発行する『JEI 図書カタログ』の活用等を通じて、エスペラント図書の拡販に努める。

【6】エスペラント大会主催事業

(担当:大会組織部)

【6.1】基本方針

1. 日本エスペラント大会(以後、本大会という)は、国際語エスペラントの実用及び活用、並びに学習、研究及び創作の発表の場であると共に、エスペラントの存在を社会に知らせ普及を進める催しでもある。同時に日本国内外のエスペランティスト同士が交流し、親交を深め、エスペラント界の文化を高める場でもある。本会はこのような意義を持つ本大会を、日本各地のエスペランティストの協力を得ながら毎年開催する。

2. 本大会を日本各地のエスペランティストの協力を得ながら開催するため、その経験を継承するための書類を整える。

【6.2】日本エスペラント大会主催事業計画

1. 第104回日本エスペラント大会を横浜市において次の要領で開催する。

(1) 開催日:2017年11月3・4・5日(金・祝、土、日)

(2) 会場:神奈川県立かながわ労働プラザ

(3) 共同主催団体:NPO 法人エスペラントよこはま

(4) 協力:神奈川県エスペラント連盟

(5) テーマ:港はつなぐ、エスペラントはつなぐ

2. 第105回日本エスペラント大会(第2回日韓共同開催エスペラント大会)を奈良市において次の要領で開催する。

(1) 開催日:2018年10月12・13・14日(金・土・日)

(2) 会場:奈良県文化会館

(3) 共同主催団体:一般社団法人関西エスペラント連盟

(4) 同時開催:第50回韓国エスペラント大会

本大会は2011年に第1回の日韓共同大会(第98回日本エスペラント大会)が韓国で開かれて以来の共同大会であり、相互開催の観点から日本で開催する。

3. 2019年の第106回日本エスペラント大会を本会創立100周年の記念大会とすべく、東京またはその近郊での開催準備を開始する。

【7】その他事業及び法人の管理

(担当:総務部、財務部、ウェブ管理部)

【7.1】基本方針

1. 本会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員層の拡大を図る。

2. 各事業部門と連携し、事業が円滑に行われるよう支援する。

3. 本会のより効果的な管理・運営方法確立に取り組む。

【7.2】総務部担当事業の計画

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など）を事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て着実に実行する。
2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的に関き対応する。
3. 図書館関連事業を、ボランティアの協力を得て推進する。
4. 『JEI 図書カタログ』の形式を検討した上で発行する。（【4. 2】4. 参照） また、図書販売促進のための対策を実行する。
5. 関連事業部と協力し、第 102 回世界エスペラント大会（韓国のソウル）へ向けて参加旅行団を企画、実施する。（【2. 2】1.（1）参照）
6. 第 7 回「エスペラントの日」記念公開講演会を開催する。（6 月 10 日）
7. 本会事業の継承ができるよう電子化された情報保管庫を導入する。

【7. 3】財務部担当事項の計画

1. 公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支える。

【7. 4】ウェブ管理部担当事項の計画

1. 本会ウェブサイト (WordPress 使用) の内容を充実する。
2. 本会関係者が本会ウェブサイトへの投稿ができるように支援する。
3. フェイスブックやツイッター等によるエスペラントの広報を支援する。
4. 本会の事業をインターネット技術の側面から支援する。
5. エスペラント界のウェブサイトとの連携を図る。